



DIGITAL MIXING CONSOLE

CL5

CL3

CL1

QL5

QL1

CL/QL シリーズ V4.1 追補マニュアル

この追補マニュアルでは、CL5/CL3/CL1 および QL5/QL1 ファームウェア V4.1 で追加 / 変更された機能を中心に説明します。
CL5/CL3/CL1 および QL5/QL1 V4 取扱説明書、リファレンスマニュアルと併せてご利用ください。

CL/QL Editor V4.1 追補マニュアル

この追補マニュアルでは、CL/QL Editor V4.1 で追加 / 変更された機能を中心に説明します。

NOTE

- ・この追補マニュアルでは、CL5 で説明をしています。
- ・CL3/CL1 または QL5/QL1 の場合、画面によってその機種にないチャンネルやフェーダーは表示されません。

目次

Shure 社 AXT400、QLXD4、ULXD4 に対応	3
セレクトッドチャンネルセクション (QL シリーズのみ)	11
4バンド EQ のバンド切り替え.....	11
入出力のパッチング	12
PATCH/NAME 画面や CH SELECT 画面、PORT SELECT 画面での、 チャンネルネームやエフェクトタイプ名の表示機能追加	12
インプット系 / アウトプット系チャンネル	13
カラーネーム表示.....	13
EQ/ ダイナミクス	14
EQ タイプの一括設定	14
HPF/EQ 画面 (1 ch)	15
メーター	16
RTA 表示画面での機能追加 (RTA METER 画面, HPF/EQ 画面, GEQ 画面, 8BandPEQ 画面)	16
I/O デバイスと外部ヘッドアンプ	17
オーディオネットワークの相互接続規格「AES67」に対応	17
I/O DEVICE 画面 (I/O ページ)	18
セットアップ	18
サポートデバイスの追加	18
Dante Device Lock	20
NETWORK 画面の機能追加	21
アラートメッセージ表示	22
CL/QL Editor V4.1 追補マニュアル	23
CSV ファイルの読み書き	23
CSV ファイル書き出しのオプション追加	23
CSV ファイル読み込み機能の追加仕様	23
Dante 出力のないデバイスに対応	26

Shure 社 AXT400、QLXD4、ULXD4 に対応

CL/QL V4.0 以降で対応した Shure 社デジタルワイヤレスシステム ULXD4D、ULXD4Q に加えて、Dante 出力のない Shure 社ワイヤレスシステム AXT400、QLXD4、ULXD4 のコントロールが可能になりました。これらの Shure 社デバイスを Dante と同じ物理ネットワークに接続してデバイスをマウントし、デバイスをコントロールできます。

ただし、実際の入力信号は CL/QL がマウントしている R シリーズや OMNI IN などに物理的に接続します。音声を入力したポートと、マウントした Shure 社デバイスを関連付けることにより、入力ポートとパッチしたインプットチャンネルからのコントロールやモニターができます。Dante 出力のない Shure 社ワイヤレスマイクを、どのようにしてコントロールするかについての説明は、「I/O DEVICE EDIT 画面の ⑫ PORT ASSIGN タブ」をご参照ください。

使用前の設定

Shure 社デバイスのファームウェアを、この機能に対応するバージョン以上にアップデートしてください。

対応バージョンはヤマハプロオーディオウェブサイトでご確認ください。

<http://www.yamahaproaudio.com/japan/>

各機器のネットワーク設定をします。

Shure 社デバイス : Shure 社ソフトウェア「Wireless Workbench 6」または各機器のネットワーク設定をするメニューから設定します。詳しくは、お使いの Shure 社デバイスの取扱説明書をご参照ください。

CL/QL: SETUP 画面→ NETWORK ボタンでポップアップ画面を表示→ FOR DEVICE CONTROL タブで設定します。

DHCP サーバーを使用しない場合は、Shure 社デバイスと CL/QL をどちらも「AUTO」に設定します。

DHCP サーバーを使用する場合は、Shure 社デバイスは「AUTO」、CL/QL は「DHCP」に設定します。固定 IP アドレスを使用する場合は、STATIC IP で設定します。この場合は、Shure 社デバイスの IP アドレスと CL/QL の「FOR DEVICE CONTROL」の IP アドレスを同じサブネットに設定してください。

DANTE SETUP 画面(DVICE MOUNT ページ)

Shure 社 AXT400、QLXD4、ULXD4 は、Dante 対応デバイスと同様にこの画面でマウントできます。



NOTE

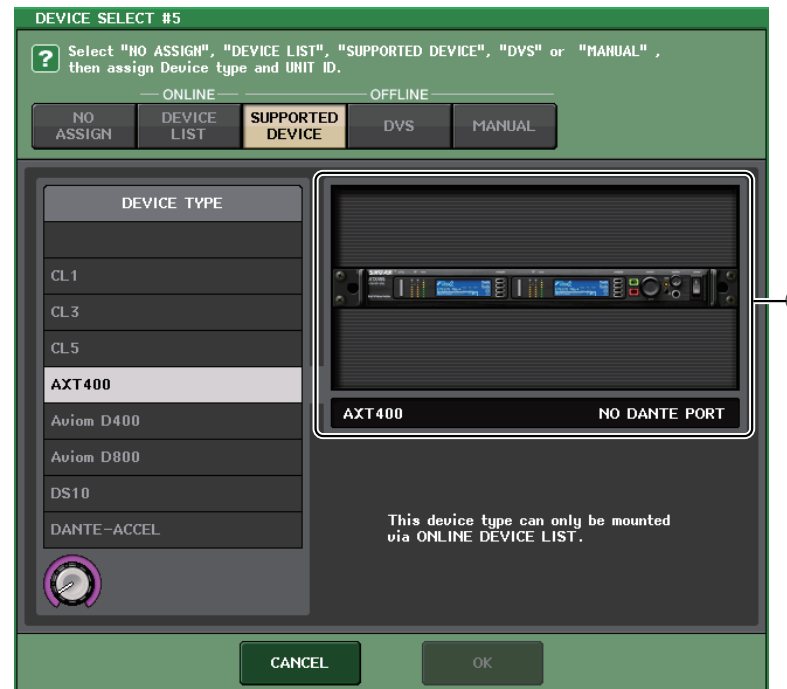
Dante オーディオネットワーク上に存在する Shure 社 AXT400、QLXD4、ULXD4 は、YAMAHA ID モードに設定した Dante 出力を持つ Shure 社 ULXD4D、ULXD4Q を含めて最大 24 台まで CL/QL に認識されます。それ以上を接続すると、マウントされているいにかかわらず、電源を入れる順番などによって本体から認識されなくなりますのでご注意ください。

DEVICE SELECT 画面 (DEVICE LIST のとき)

**NOTE**

DEVICE IDENTIFY 機能があるデバイスでは、DEVICE IDENTIFY ボタンが有効になります。それ以外の場合は、グレイに変わりボタンを押すことはできません。

DEVICE SELECT 画面 (SUPPORTED DEVICE のとき)



① I/O デバイス表示 (Dante 出力のないデバイスの場合)

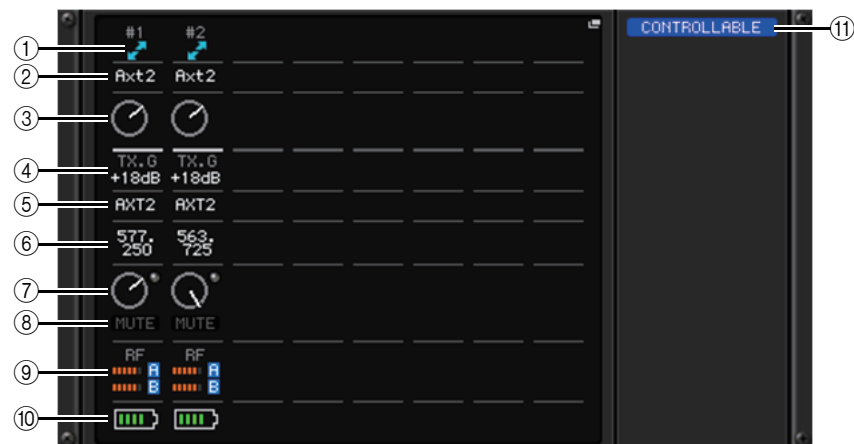
右に「NO DANTE PORT」が表示されます。


NOTE

Dante 出力のないデバイスの場合、オフラインではマウントできません。オンライン (DEVICE LIST ボタンをオンした状態) でマウントしてください。

I/O DEVICE 画面 (WIRELESS ページ)

■ Shure 社 AXT400 の場合



- ① Shure 社 ShowLink® リモートコントロールと接続されているとき、このインジケータが点灯します。 
- ② デバイス ID (送信機側)
送信機側で設定したデバイス ID が表示されます。
- ③ TX.GAIN ノブ
送信機のゲイン量を表示します。この画面は表示のみで、値を変更することはできません。
- ④ TX.GAIN
送信機のゲイン値を表示します。
- ⑤ チャンネルネーム (受信機側)
受信機側で設定したチャンネルネームが表示されます。
- ⑥ 周波数
現在設定されている RF シグナルの周波数が表示されます。
- ⑦ RX.LEVEL ノブ
受信機のゲイン量を表示します。この画面は表示のみで、値を変更することはできません。
- ⑧ MUTE インジケータ
受信機の音声信号のミュート状態 (オン / オフ) を表示します。

- ⑨ RF (Radio Frequency) シグナルメータ
表示されているバーの数で RF シグナルのレベルを表示します。
右側にはアクティブアンテナインジケータが表示され、どのアンテナが有効かを示します。

NOTE

バーの数と実際の RF シグナルレベル数値の関係については、Shure 社のマニュアルなどをご参照ください。

- ⑩ 電池インジケータ

表示されているバーの数で電池残量を表示します。

NOTE

バーの数と最大動作時間の関係については、Shure 社のマニュアルなどをご参照ください。

- ⑪ コントロールステータスインジケータ

デバイスのコントロール状態を表示します。

DISCOVERING	コントロール対象のデバイスを探している状態
DECLINED	コントロール対象のデバイスを発見できているが、接続を拒否されている状態
CONNECTING	デバイスとの接続を試みている状態
SYNCHRONIZING	デバイスとの同期中
CONTROLLABLE	デバイスのコントロールが可能な状態

NOTE

受信機側のコントロールが可能な状態になると、受信機側のパラメータ値がコンソール側に送信されます。

■ Shure 社製 QLXD4/ULXD4 の場合

CL シリーズまたは QL シリーズのリファレンスマニュアルの「ワイヤレス機器をリモート操作する」をご参照ください。

NOTE


QLXD4 の場合、MUTE インジケータは表示されません。

I/O DEVICE EDIT 画面

I/O DEVICE 画面(WIRELESS ページ)で、ワイヤレス機器を選んで押すと表示されます。チャンネル名やゲインなどを設定します。オフライン状態で設定することはできません。デバイスがオンライン時に、デバイス側の設定内容が反映されます。

■ Shure 社製 AXT400 の場合



- ① ShowLink® リモートコントロールで接続されているとき、このインジケータ  が点灯します。
- ② デバイス ID ボタン (送信機側)
このボタンを押すと送信機側のデバイス ID を設定する NAME 画面が表示されます。8 文字まで設定できます。
- ③ TX.GAIN ノブ
送信機のゲイン量を設定します。値を調節するには、ノブを押して選択し、マルチファンクションノブ (CL シリーズの場合) または TOUCH AND TURN ノブ (CL/QL シリーズの場合) を使います。
- ④ TX.GAIN
送信機のゲイン値を表示します。

- ⑤ チャンネル名 (受信機側)
このボタンを押すと受信機側のチャンネル名を設定する NAME 画面が表示されます。8 文字まで設定できます。送信機側で設定したチャンネル名が表示されます。
- ⑥ 周波数
現在設定されている RF シグナルの周波数が表示されます。
- ⑦ RX.LEVEL ノブ
受信機のゲイン量を設定します。値を調節するには、ノブを押して選択し、マルチファンクションノブ (CL シリーズの場合) または TOUCH AND TURN ノブ (CL/QL シリーズの場合) を使います。なお、ノブのすぐ右側にあるレベルメーターで、入力レベルを確認できます。
- ⑧ MUTE ボタン
受信機の音声信号をミュートします。
- ⑨ RF(Radio Frequency) シグナルメーター
表示されているバーの数で RF シグナル (A/B チャンネル) のレベルを表示します。右側にはアクティブアンテナインジケータが表示され、どのアンテナが有効かを示します。
NOTE
バーの数と実際の RF シグナルレベル数値の関係については、Shure 社のマニュアルなどをご参照ください。
- ⑩ 電池インジケータ
表示されているバーの数で電池残量を表示します。
NOTE
バーの数と最大動作時間の関係については、Shure 社のマニュアルなどをご参照ください。
- ⑪ Diversity Mode インジケータ
Diversity Mode の状態を表示します。動いていない場合は「Diversity Mode:off」と表示されます。
- ⑫ PORT ASSIGN タブ
タブを切り替えることで、実際の入力信号がアサインされているポートを指定する画面に変わります。

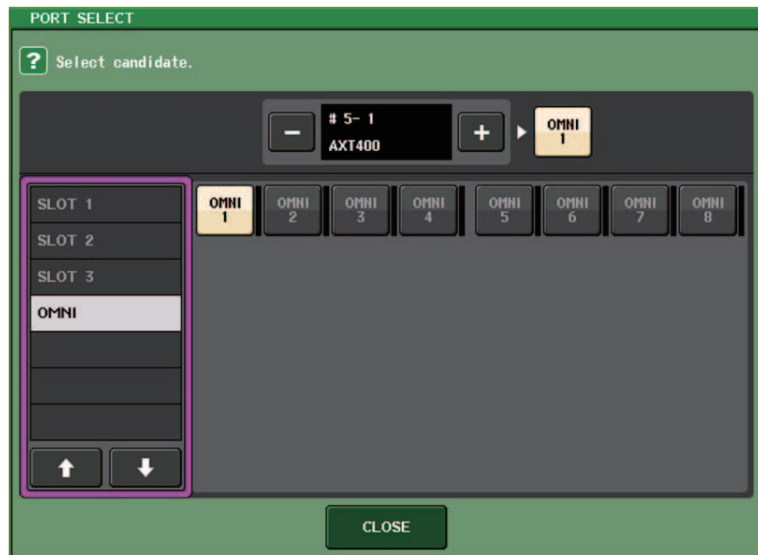


ここで、Dante 出力のない Shure 社ワイヤレスマイクを、どのようにしてコントロールするか説明します。

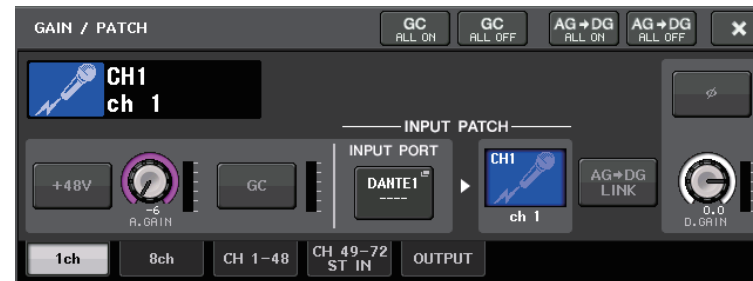
例: AXT400 の出力を CL 本体の OMNI 1 に接続、インプットチャンネル CH 1 にてその信号をアサインし、コントロールをしたい場合。

PORT ASSIGN ボタンを押し、PORT SELECT 画面を開きます。

実際に AXT400 の出力を接続しているポート (OMNI 1) を選択します。



GAIN/PATCH 画面に移ります。



INPUT PORT ボタンを押し、PORT SELECT 画面にて AXT400 の出力信号が接続されているポート (OMNI 1) を選択します。



これにより、AXT400 の出力信号がインプットチャンネルにアサインされ、同時に AXT400 のコントロールやレベル監視がインプットチャンネルから出来るようになります。



■ Shure 社製 QLXD4/ULXD4 の場合

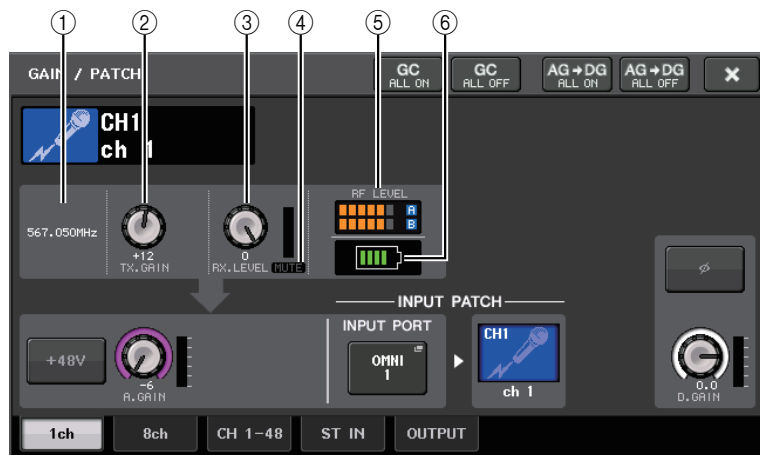
CL シリーズまたは QL シリーズのリファレンスマニュアルの「ワイヤレス機器をリモート操作する」をご参照ください。

QLXD4 の場合、PORT ASSIGN タブが追加表示されます。MUTE ボタンは表示されません。

ULXD4 の場合、PORT ASSIGN タブが追加表示されます。

GAIN/PATCH 画面 (1 ch)

■ Shure 社製 AXT400/QLXD4/ULXD4 の場合



① 周波数

現在設定されている RF シグナルの周波数が表示されます。

② TX.GAIN ノブ

送信機のゲイン量を設定します。値を調節するには、ノブを押して選択し、マルチファンクションノブ (CL シリーズの場合) または TOUCH AND TURN ノブ (CL/QL シリーズの場合) を使います。

NOTE

- ・ AXT400 が ShowLink® リモートコントロールで接続されていない場合、ここはノブの代わりに灰色の円が表示され、ゲイン量の調節はできません。
- ・ QLXD4、ULXD4 の場合、ここはノブの代わりに灰色の円が表示され、ゲイン量の調節はできません。

③ RX.LEVEL ノブ (AXT400 の場合)

RX.GAIN ノブ (QLXD4/ULXD4 の場合)

受信機のゲイン量を設定します。値を調節するには、ノブを押して選択し、マルチファンクションノブ (CL シリーズの場合) または TOUCH AND TURN ノブ (CL/QL シリーズの場合) を使います。なお、ノブのすぐ右側にあるレベルメーターで、入力レベルを確認できます。

④ MUTE インジケータ

受信機の音声信号のミュート状態 (オン/オフ) を表示します。

NOTE

QLXD4 の場合、MUTE インジケータは表示されません。

⑤ RF (Radio Frequency) シグナルメーター

表示されているバーの数で RF シグナル (AXT400 の場合は A/B チャンネル両方) のレベルを表示します。

右側にはアクティブアンテナインジケータが表示され、どのアンテナが有効かを示します。

NOTE

バーの数と実際の RF シグナルレベル数値の関係については、Shure 社のマニュアルなどをご参照ください。

⑥ 電池インジケータ

表示されているバーの数で電池残量を表示します。

NOTE

バーの数と最大動作時間の関係については、Shure 社のマニュアルなどをご参照ください。

GAIN/PATCH 画面 (8ch)

■ Shure 社製 AXT400/QLXD4/ULXD4 の場合



CH1 ~ 2 にて AXT400 を、CH3 にて QLXD4 を、CH4 にて ULXD4 をコントロール接続している場合

① 周波数

現在設定されている RF シグナルの周波数が表示されます。

② TX.GAIN ノブ (AXT400 の場合)

RX.GAIN ノブ (QLXD4/ULXD4 の場合)

各ゲイン量を設定します。値を調節するには、ノブを押して選択し、マルチファンクションノブ (CL シリーズの場合) または TOUCH AND TURN ノブ (CL/QL シリーズの場合) を使います。なお、ノブのすぐ右側にあるレベルメーターで、入力レベルを確認できます。

NOTE

AXT400 が ShowLink® リモートコントロールで接続されていない場合、ここはノブの代わりに灰色の円が表示され、ゲイン量の調節はできません。

③ MUTE インジケータ

受信機の音声信号のミュート状態 (オン/オフ) を表示します。

NOTE

QLXD4 の場合、MUTE インジケータは表示されません。

④ RF (Radio Frequency) シグナルメーター

表示されているバーの数で RF シグナル (AXT400 の場合は A/B チャンネル両方) のレベルを表示します。

右側にはアクティブアンテナインジケータが表示され、どのアンテナが有効かを示します。

NOTE

バーの数と実際の RF シグナルレベル数値の関係については、Shure 社のマニュアルなどをご参照ください。

⑤ 電池インジケータ

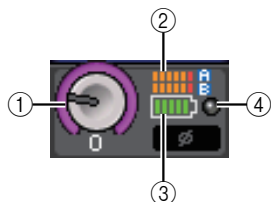
表示されているバーの数で電池残量を表示します。

NOTE

バーの数と最大動作時間の関係については、Shure 社のマニュアルなどをご参照ください。

GAIN/PATCH 画面 (1-48、49-72/ST IN(CL5)、49-64/ST IN(CL3)、ST IN(CL1)) および OVERVIEW 画面

■ Shure 社製 AXT400/QLXD4/ULXD4 の場合



- ① TX.GAIN ノブ (AXT400 の場合)
RX.GAIN ノブ (QLXD4/ULXD4 の場合)

NOTE

AXT400 が ShowLink® リモートコントロールで接続されていない場合、ここはノブの代わりに灰色の円が表示され、ゲイン量の調節はできません。

- ② RF(Radio Frequency) シグナルメーター

表示されているバーの数で RF シグナルのレベル (AXT400 の場合は A/B チャンネル両方) を表示します。

右側にはアクティブアンテナインジケータが表示され、どのアンテナが有効かを示します。

NOTE

バーの数と実際のシグナルレベル数値の関係については、Shure 社のマニュアルなどをご参照ください。

- ③ 電池インジケータ

表示されているバーの数で電池残量を表示します。


NOTE

バーの数と最大動作時間の関係については、Shure 社のマニュアルなどをご参照ください。

- ④ OL インジケータ

受信機の音声信号レベルがオーバーロードになったときに点灯します。

NOTE

受信機の MUTE がオンの場合、MUTE インジケータ  の表示になります。

SELECTED CHANNEL 画面

■ Shure 社製 AXT400/QLXD4/ULXD4 の場合



- ① TX.GAIN ノブ (AXT400 の場合)
RX.GAIN ノブ (QLXD4/ULXD4 の場合)

NOTE

AXT400 が ShowLink® リモートコントロールで接続されていない場合、ここはノブの代わりに灰色の円が表示され、ゲイン量の調節はできません。

- ② RF(Radio Frequency) シグナルメーター

表示されているバーの数で RF シグナルのレベル (AXT400 の場合は A/B チャンネル両方) を表示します。

右側にはアクティブアンテナインジケータが表示され、どのアンテナが有効かを示します。

NOTE

バーの数と実際のシグナルレベル数値の関係については、Shure 社のマニュアルなどをご参照ください。

- ③ 電池インジケータ

表示されているバーの数で電池残量を表示します。

NOTE

バーの数と最大動作時間の関係については、Shure 社のマニュアルなどをご参照ください。

- ④ MUTE インジケータ

受信機の音声信号のミュート状態 (オン / オフ) を表示します。

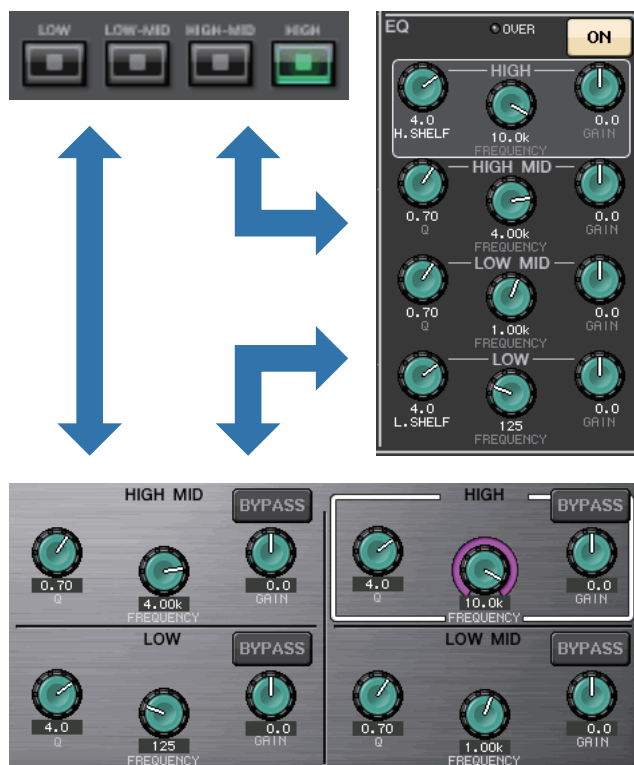
注意事項

- 対象となっているデバイスのマウントが外された場合、コンソール側のパラメータは初期値に戻ります。新たにデバイスがマウントされ、かつパッチされれば、そのデバイスのパラメータが本体に反映されます。
- ラックが NO ASSIGN 状態になった場合のみ、該当するラックへのポートアサインすべてが外れます。
- Shure 社デバイスのコントロールに関して、コントロールパラメータはシーンに保存されず、コンソールファイルにも保存されません。

セレクトッドチャンネルセクション (QL シリーズのみ)

4バンドEQのバンド切り替え

トップパネルにあるEQ[LOW]キー/EQ[LOW-MID]キー/EQ[HIGH-MID]キー/EQ[HIGH]キーの選択と、タッチスクリーンでのバンド選択がリンクするようになりました。



入出力のパッチング

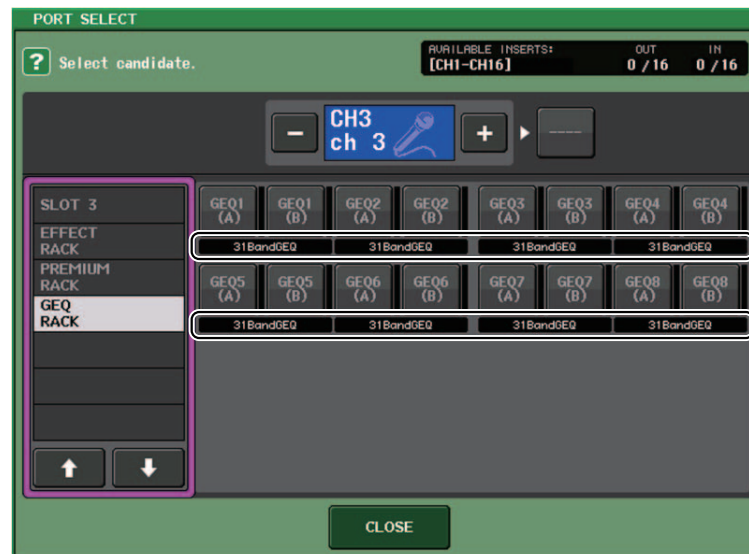
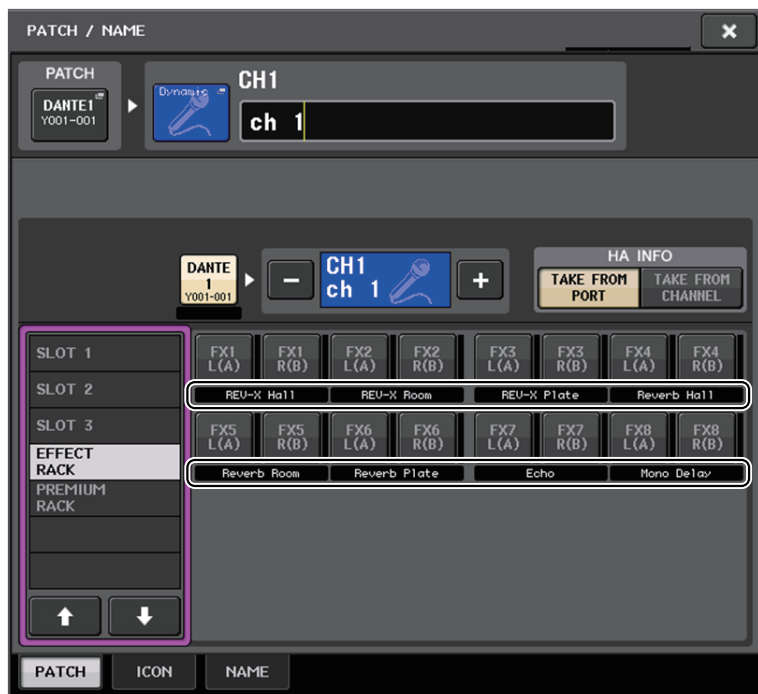
PATCH/NAME 画面や CH SELECT 画面、PORT SELECT 画面での、チャンネルネームやエフェクトタイプ名の表示機能追加

PATCH/NAME 画面や CH SELECT 画面、PORT SELECT 画面の、チャンネル選択ボタンまたはポート選択ボタンの下に、チャンネルネームやエフェクトタイプ名が表示されるようになりました。

NOTE

DANTE IN カテゴリ以外で、Dante Controller でチャンネルラベルが設定できない以下のボタンは、表示対象ではありません。

- ・ MONITOR ボタン
- ・ CUE ボタン
- ・ SURROUND MONITOR ボタン
- ・ SLOT ボタン
- ・ SEL CH ボタン
- ・ SEND MASTER ボタン
- ・ OMNI ボタン
- ・ INPUT ボタン (QL のみ)



インプット系 / アウトプット系チャンネル

カラーネーム表示

PATCH/NAME 画面 (ICON タブ選択時) において、チャンネルカラー選択ボタンにカラーネームも表示するようになりました。



EQ/ ダイナミクス

EQ タイプの一括設定

HPF/EQ 画面や PEQ EDIT 画面で、EQ タイプを全チャンネルまたは全ラックで、一括して設定できるようになりました。チャンネルはカテゴリごとを選択できます。

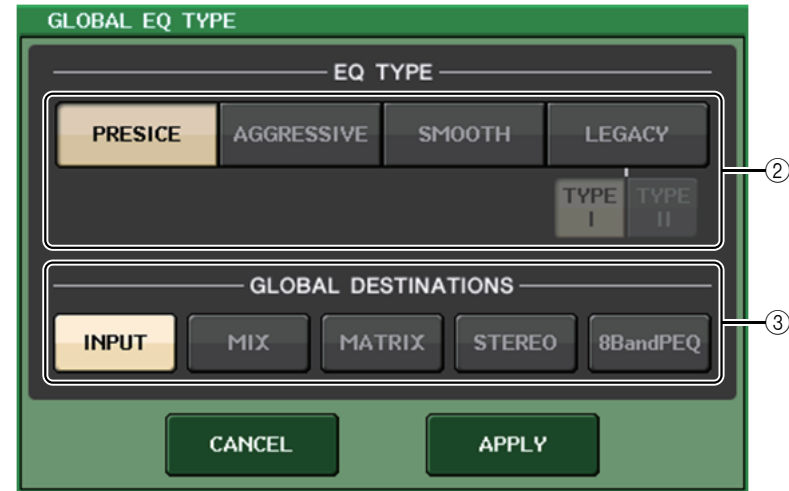
手順

1. 画面上の EQ タイプ切り替えボタンを押す。
2. ポップアップ画面右上の GLOBAL SETUP ボタンを押す。
3. GLOBAL EQ TYPE 画面にて、EQ タイプとチャンネルカテゴリを選択する。
4. APPLY ボタンを押す。
5. CONFIRMATION ダイアログが開くので、OK ボタンを押す。



① GLOBAL SETUP ボタン

押すと、EQ タイプとチャンネルカテゴリの設定を行なう GLOBAL EQ TYPE ポップアップ画面が表示されます。



② EQ タイプボタン

EQ のタイプを PRECISE、AGGRESSIVE、SMOOTH、LEGACY から選択します。選択できる EQ のタイプは以下のとおりです。

PRECISE	「正確性」と「コントロールビリティ」を追求した EQ です。狙ったポイントを正確に調整でき、様々な音づくりへの要求に柔軟に応えます。Low/High のシェルビングフィルターには「Q」パラメーターを持たせ、肩特性の調整を可能にしています。
AGGRESSIVE	「音楽的で、効きが良い」という特長を持った EQ です。積極的な音色作りが可能で、アーティストックな表現ツールとして大きな威力を発揮します。
SMOOTH	「なめらかな音質」を主眼に置いた EQ です。原音の持つ雰囲気や大きさを壊すことなく、自然なサウンド作りが可能です。
LEGACY	PM1D や PM5D をはじめ、歴代のヤマハデジタルミキサーに搭載されている標準的な EQ です。下のボタンで、TYPE I (従来のヤマハデジタルミキサーのアルゴリズム) または TYPE II (バンド間の干渉が少ないアルゴリズム) の切り替えができます。

③ GLOBAL DESTINATIONS ボタン

選択した EQ タイプに設定するチャンネルを、カテゴリごとに設定します。複数選択が可能です。

8BandPEQ を選択した場合、その初期設定が選択した EQ タイプに設定されます。

HPF/EQ 画面 (1ch)

EQ タイプが PRECISE のとき、HIGH バンドの Q ノブの押し回しで、PEQ やシェルビングタイプ、ローパスフィルターへの切り替えが可能になりました。

また、LOW バンドの Q ノブの押し回しで、PEQ やハイパスフィルターへの切り替えが可能になりました。

NOTE

- この操作ができるのは、本体トップパネルのセレクトッドチャンネルセクションにある EQ Q ノブのみです。
- CL シリーズの場合、Centralogic セクションにあるマルチファンクションノブではこの操作はできません。また TOUCH AND TURN 機能を割り当てた USER DEFINED ノブでもこの操作はできません。
- QL シリーズの場合、セレクトッドチャンネルセクションにある TOUCH AND TURN ノブではこの操作はできません。



■ HIGH バンド

- PEQ(Q=0.10) のときに Q ノブを押しながら右に回すと、シェルビングタイプに切り替わります。
- PEQ(Q=16.0) のときに Q ノブを押しながら左に回すと、ローパスフィルターに切り替わります。
- シェルビングタイプ (Q=10.0) のときに Q ノブを押しながら左に回すと、PEQ に切り替わります。
- ローパスフィルター のときに Q ノブを押しながら右に回すと、PEQ に切り替わります。

■ LOW バンド

- PEQ(Q=0.10) のときに Q ノブを押しながら右に回すと、シェルビングタイプに切り替わります。
- シェルビングタイプ (Q=10.0) のときに Q ノブを押しながら左に回すと、PEQ に切り替わります。

メーター

RTA 表示画面での機能追加(RTA METER 画面, HPF/EQ 画面, GEQ 画面, 8BandPEQ 画面)

スケールの変更やオフセットゲインの追加、PEAK HOLD の追加により、周波数解析表示の視認性が向上しました。



- ① オフセットゲイン (RTA METER 画面, HPF/EQ 画面, GEQ 画面, 8BandPEQ 画面)
レベルが低い周波数解析結果の場合グラフに埋もれてしまうので、オフセットゲインを付加することで結果がグラフに見えるようになります。このゲインは 0dB ~ +30dB まで調整できます。

NOTE

このパラメーターは、RTA METER 画面、HPF/EQ 画面、GEQ 画面、8BandPEQ 画面にて共通のパラメーターとなります。

- ② スケールの変更 (RTA METER 画面)
RTA のスケールを、dB 値で等間隔に表示されるように変更しました。
- ③ PEAK HOLD ボタン (RTA METER 画面)
このボタンをオンにすると、周波数解析したグラフのピークが保持されます。オフにすると、ピークが解除されます。

NOTE

PEAD HOLD ボタンと RTA ボタン、オフセットゲインの設定は、本体の電源がオフになっても記憶されます。

I/O デバイスと外部ヘッドアンプ

オーディオネットワークの相互接続規格「AES67」に対応

オーディオオーバーIP 技術による相互接続を実現するための標準規格「AES67」に対応しました。これにより、CL/QL/R シリーズは AES67 と互換性のある「Ravenna」をはじめとした各種オーディオネットワークと AES67 を介したオーディオ接続が可能となります。

NOTE

- CL/QL/R シリーズ本体を AES67 モードで使用するには、Audinate 社のソフトウェア「Dante Controller」が必要です。AES67 を介したルーティングは Dante Controller からのみ可能です。
- オフラインで AES67 を介したパッチが設定されているチャンネルについては、該当機器と接続したときに、該当機器側に保存されているパッチ設定に同期されます。

パッチが AES67 を介したオーディオ接続になっている場合、以下のように、以下のように、ポート選択ボタンなどに「AES67」が表示されます。

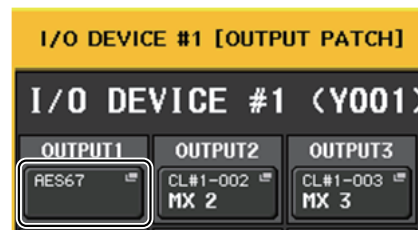
DANTE INPUT PATCH 画面



PORT SELECT 画面



I/O DEVICE [OUTPUT PATCH] 画面



I/O DEVICE 画面 (I/O ページ)



CL/QL 本体が AES67 モードになっている場合、以下のパラメーターは本体コンソールから設定変更ができません。

- WORD CLOCK/SLOT 画面の MASTER CLOCK SELECT フィールド内のマスタークロック選択ボタン

NOTE

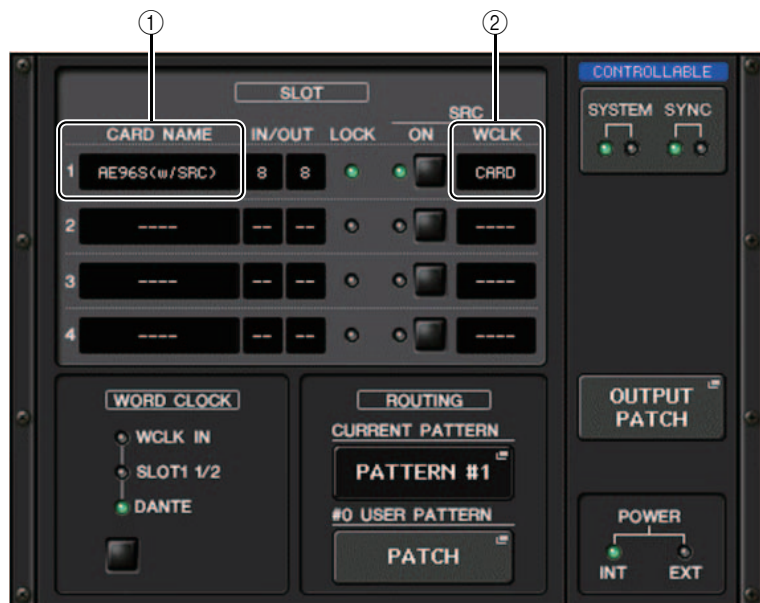
上記の設定を変更しようとする、LCD 画面の下部に以下のメッセージが表示されます。

Please use Dante Controller. AES67 Mode Enabled.

I/O DEVICE 画面(I/O ページ)

■ RSio64-D 表示

RSio64-D に Mini-YGDAI カード MY8-AE96S が挿入されているとき、カードの内蔵サンプリングレートコンバーター機能がオンになった場合、表示が以下ようになります。



① カード名

「AE96S(w/SRC)」と表示されます。

カードの内蔵サンプリングレートコンバーター機能がオフになると「MY8-AE96S」という表示になります。

② WCLK 表示

「CARD」と表示されます。

カードの内蔵サンプリングレートコンバーター機能がオフになると「SLOT」という表示になります。

セットアップ

サポートデバイスの追加

Audinate 社 Dante-MY16-AUD2 と d&b audiotechnik 社 DS10、Shure 社 AXT400、QLXD4、ULXD4 が新たにサポートされました。DANTE SETUP 画面の DEVICE MOUNT ページにてマウントできます。

NOTE

Shure 社 AXT400、QLXD4、ULXD4 は、オンライン状態でのみマウントできます。



Dante Device Lock

CL/QL/R シリーズが、Dante Device Lock に対応しました。その状態は CL/QL 上に表示されます。

Dante Device Lock とは、ネットワーク上の他のコンピューターから Dante 機器の Dante オーディオネットワーク設定の変更を防止する機能です。Dante Device Lock は Dante Controller から設定します。

CL/QL 本体の Dante Device Lock がオンの場合、以下のパラメーターは変更ができません。

- CONSOLE ID
- SECONDARY PORT
- BIT
- LATENCY (ms)
- PREFERRED MASTER

CL/QL 本体の Dante Device Lock がオンになると、DANTE SETUP 画面左上の DANTE DEVICE LOCKED インジケーターが赤色に点灯します。



パラメーターを変更しようとする、画面下部に以下のメッセージが表示されます。

DANTE Device is Locked

本体にマウントしたデバイスがオンライン状態で、そのデバイスの Dante Device Lock がオンになっている場合、以下のように LOCKED インジケーターが各画面に表示されます。



本体の Dante Device Lock がオンの場合、以下のような仕様になります。

- WORD CLOCK/SLOT 画面において、マスタークロック選択ボタンの変更はできません。
- DANTE INPUT PATCH 画面において、すべてのパラメーターの変更はできません。また DANTE INPUT PATCH LIBRARY 画面における RECALL 操作や、AUTO SETUP も操作できません。
- I/O DEVICE[OUTPUT PATCH] 画面においても、すべてのパラメーターは変更ができません。
- USB メモリーからファイルをロードしたとき、変更対象となるデバイスの Dante Device Lock がオンの場合は、ロードによる設定変更は行われません。画面にメッセージが表示されます。
- 本体の内蔵メモリーを工場出荷時の状態に初期化した場合、Dante Device Lock はオンのまま変更されません。またロックされたパラメーターもすべて初期化されません。CL シリーズまたは QL シリーズのリファレンスマニュアルの「本体を工場出荷時の状態に初期化する」をご参照ください。
- 本体の Dante に関する設定を工場出荷時の状態に初期化した場合、Dante Device Lock はオフになります。またロックされたパラメーターもすべて初期化されます。CL シリーズまたは QL シリーズのリファレンスマニュアルの「コンソール設定および Dante オーディオネットワーク設定を初期化する」をご参照ください。
- USB メモリーを使って Dante モジュールのファームウェアをアップデートすることはできません。また Dante Firmware Update Manager を使った場合でも、アップデートすることはできません。

NOTE

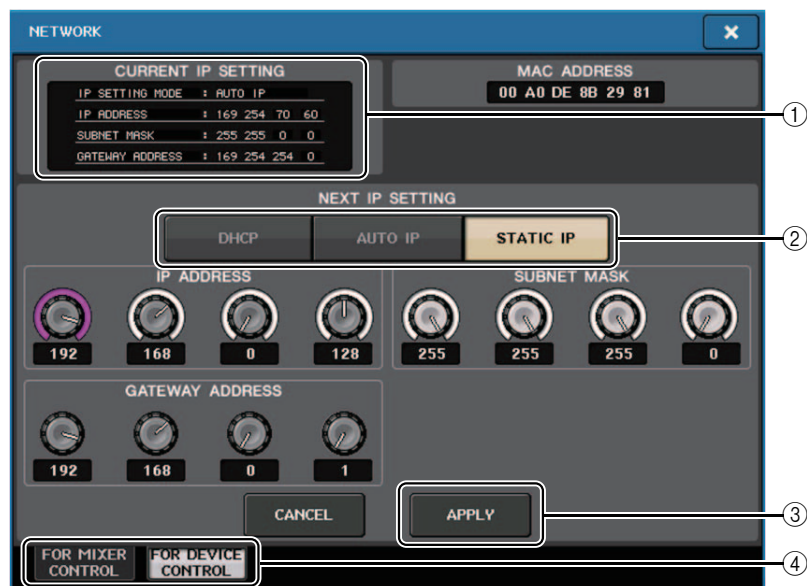
- リモート機器側が Dante Device Lock オンの場合は、該当機器向けのオフライン設定 (例: Dante Patch) はすべて無効になります。
- I/O 機器が Dante Device Lock オンの状態でも、Dante に関する設定以外のリモートコントロール (例: R シリーズの HA コントロールなど) は可能です。

NETWORK 画面の機能追加

NETWORK 画面 (FOR DEVICE CONTROL ページ)

リアパネルの Dante PRIMARY 端子を使って外部機器をリモートコントロールするために、本体の IP アドレスを設定する画面です。設定方法は、DHCP や AUTO IP、固定 IP に対応しています。

DHCP 管理下のネットワークでも、Tio1608-D や Shure 社の ULDX4 といった外部機器をリモートコントロールできるようになりました。



- ① CURRENT IP SETTING フィールド
現在の設定内容を表示します。

■ NEXT IP SETTING フィールド

- ② IP SETTING MODE 選択ボタン
次回本体を起動したときに IP アドレスをどのように設定するかを決めます。DHCP, AUTO IP, STATIC IP から選択します。

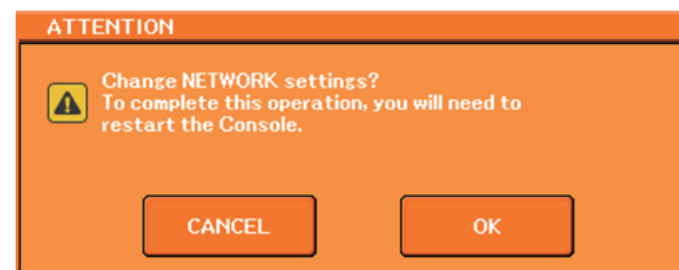
NOTE

AUTO IP を選択すると、Dante ネットワークが自動的に本体の IP アドレスを 169.254.xxx.xxx に設定します。

DHCP, AUTO IP を選択した場合、画面は以下のようになり、IP ADDRESS や SUBNET MASK、GATE WAY ADDRESS の設定はできません。



- ③ APPLY ボタン
IP アドレスの設定を変更したら、このボタンを押してください。ATTENTION 画面が表示されたら OK ボタンを押し、本体の電源を入れ直してください。



- ④ タブ
項目 (FOR MIXER CONTROL または FOR DEVICE CONTROL) を切り替えます。

NOTE

IP SETTING MODE 選択ボタンにて DHCP または AUTO IP を選択した場合、IP アドレスの設定に時間がかかることがあります。この間、以下の様な表示になります。



NETWORK 画面 (FOR MIXER CONTROL ページ)

リアパネルの NETWORK 端子を使って CL Editor/QL Editor や StageMix、MonitorMix アプリケーションから本体をリモートコントロールするために、本体の IP アドレスを設定する画面です。MonitorMix アプリケーションのための UNIT NAME や PIN はここで設定します。IP SETTING MODE 選択ボタンは、STATIC IP ボタン 1 つだけが有効になります。他は選択できません。



アラートメッセージ表示

Dante ネットワークがギガビットでリンクしていないときに、LCD 下部にメッセージが表示されるようになりました。

メッセージ例:

- ① PRIMARY 接続がアクティブで、ギガビットでリンクしていない場合:

*) ただし、このメッセージは SECONDARY 接続より優先されます。

DANTE Primary is not working by GIGA bit.

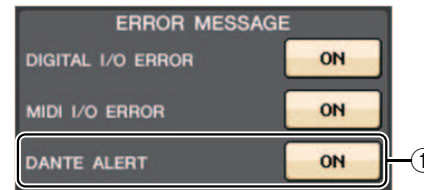
- ② PRIMARY 接続がアクティブでなく、SECONDARY 接続がアクティブで、ギガビットでリンクしていない場合:

DANTE Secondary is not working by GIGA bit.

- ③ PRIMARY 接続がアクティブで、ギガビットでリンクしている場合で、SECONDARY 接続がギガビットでリンクしていない場合:

DANTE Secondary is not working by GIGA bit.

アラートメッセージの表示をオン/オフする選択は、USER SETUP 画面 (PREFERENCE ページ) の ERROR MESSAGE フィールドにて設定します。



- ① DANTE ALERT


オンにすると、Dante ネットワークがギガビットでリンクしていないときに、LCD 下部にメッセージが表示されます。

アラートメッセージが表示されましたら、以下の項目を確認してください。

- ・スイッチの設定
- ・1000Mbps の速度で動作しないスイッチに接続していないか。
- ・1000BASE-T に対応していないケーブルを使用していないか。

Dante オーディオネットワークの設定

■ エラーメッセージの追加

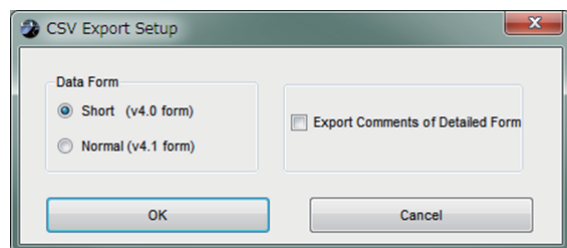
[SYSTEM] インジケータ	内容	対策方法
 点灯 点灯	Dante Device Lock 後に機器設定ディップスイッチやロータリースイッチを変更した、または DanteController から設定を変更したことにより、機器設定ディップスイッチと実際の Dante の設定が異なっている。	Dante Controller で Device Lock の設定をしている場合は、解除してください。または機器設定ディップスイッチの設定を見直し、現状に合わせて正しく設定してください。

CL/QL Editor V4.1 追補マニュアル

CSV ファイルの読み書き

CSV ファイル書き出しのオプション追加

CSV ファイルを書き出すフォルダーを選択する前に、出力形式を設定できるようになりました。



Short 形式 :CL/QL Editor V4.0.0 および V4.0.1 のファイル形式

Normal 形式 :CL/QL Editor V4.1 のファイル形式

NOTE

V4.1 では、Short 形式や Normal 形式のどちらでも CSV ファイルを読み込みます。

[Export Comments of Detailed Form] のチェックボックスにチェックを入れると、コメント列 (3 列目) に省略していないデータが追加されて CSV ファイルに出力されます。

CSV ファイル読み込み機能の追加仕様

CSV ファイルを作成するときに、同義語や類義語、省略語として使用できる表記が増えました。

チャンネルカラーで使用できる表記

本来の表記	CSV ファイルを読み込むときに、使用できる表記
Blue	BL, B
Orange	OR, O
Yellow	YE, YL, Y
Purple	PU, P
Cyan	SkyBlue, CY, C
Magenta	Pink, PK, M, MG
Red	Brown, RD, BN, R
Green	GN, G
Off	Black, BK, (記述が無い場合も Off とみなします。)

NOTE

大文字と小文字は区別されません。

チャンネルアイコンで使用できる表記

本来の表記	CSV ファイルを読み込むときに、使用できる表記
Kick	BassDrum, B.Dr, BD, B.D
Snare	Sn, S.Dr, Botm, Botom
Hi-Hat	HiHat, HH
Tom	RackTom, F.Tom, Ftom, LTom, HTom
Drumkit	Drum, Kit, Drums, Top, TopL, TopR, O.HEAD, O.H
Perc.	Percussion, Per, Cong, conga, Bong, Bongo
A.Bass	AcousticBass, Bass, C.Bass, CB, C.B, AB, A.B, Vc
Strings	String, Str, Vl, Vn, Vla
E.Bass	ElectricBass, E.B, EB
A.Guitar	A.Gt, AcousticGuitar, AcousticGt, A.G, AG
E.Guitar	E.Gt, ElectricGuitar, ElectricGt, E.G, EG
BassAmp	B.Amp, B.A
GuitarAmp	GtAmp, G.Amp, G.A
Trumpet	TP, Trp
Trombone	Tb, Trb
Saxophone	Sax, SSax, ASax, TSax, BSax
Piano	Pf, AP, Pfl, Pfr, PfH
Organ	Org, Leslie
Keyboard	KB, Key, KeyL, KeyR, EP, E.Pf, Syn, EPL, EPR, SynL, SynR
Male	
Female	
Choir	Chorus, Cho, Chor
Dynamic	DynamicMic
Condenser	CondenserMic

本来の表記	CSV ファイルを読み込むときに、使用できる表記
Wireless	WirelessMic, W/L, W.L
Podium	Speech, Lecture
Wedge	Foot, Flor, Floor
2way	
In-Ear	InEar, IEM, Ear
Effector	Fx, Eff, Effect
Media1	CD, MD, DISC
Media2	PB
Video	VTR, DVD, Blu
Mixer	Mix
PC	DAW
Processor	DME, DSP, DLY, DELAY, REV, Reverb
Audience	Aud
Star1	
Star2	
Blank	(記述が無い場合も Blank とみなします。)

NOTE

- ・大文字と小文字は区別されません。
- ・文字列中のスペースは認識されません。

インプットパッチやアウトパッチのポートネームで使用できる表記

本来の表記 (Normal 形式)	本来の表記 (Short 形式)	CSV ファイルを読み込むときに、追加で使用できる表記 ※ 下線文字の単語は省略可能です。 ※ [n] は数字 (チャンネル番号など) が入ります。
NONE	NONE	None
DANTE [n]	DNT [n]	Dante [n]
OMNI [n]	OMNI [n]	Omni [n] AD [n]
INPUT [n]	INPUT [n]	Input [n]
PB L	PBL	Playback <u>Output</u> Left
PB R	PBR	Playback <u>Output</u> Right
SLOT1 [n]	SL1 [n]	Slot1 [n]
SLOT2 [n]	SL2 [n]	Slot2 [n]
SLOT3 [n]	SL3 [n]	Slot3 [n]
FX [n] A	FX[n]A	Effect <u>Rack</u> [n] A
FX [n] B	FX[n]B	Effect <u>Rack</u> [n] B
PRFX [n] A	PR[n]A	Premium <u>Rack</u> [n] A
PRFX [n] B	PR[n]B	Premium <u>Rack</u> [n] B
GEQ [n] A	GEQ[n]A	GEQ <u>Rack</u> [n] A
GEQ [n] B	GEQ[n]B	GEQ <u>Rack</u> [n] B
MIX [n]	MX [n]	Mix <u>Channel</u> [n]
MATRIX [n]	MT [n]	Matrix <u>Channel</u> [n]
STEREO L	STL	Stereo <u>Output</u> Left Main L
STEREO R	STR	Stereo <u>Output</u> Right Main R
MONO (C)	MONO	Mono (C)
STEREO L+C	STLC	Stereo <u>Output</u> L+C
STEREO R+C	STRC	Stereo <u>Output</u> R+C

本来の表記 (Normal 形式)	本来の表記 (Short 形式)	CSV ファイルを読み込むときに、追加で使用できる表記 ※ 下線文字の単語は省略可能です。 ※ [n] は数字 (チャンネル番号など) が入ります。
MONITOR L	MON L	Monitor Left
MONITOR R	MON R	Monitor Right
MONITOR C	MON C	Monitor Center
CUE L	CUE L	Cue <u>A</u> Cue Left
CUE R	CUE R	Cue Right
CUE B L	CUE BL	Cue B Left
CUE B R	CUE BR	Cue B Right
INS CH [n]	IC [n]	Insert1 <u>Input</u> Channel [n]
INS MIX [n]	IM [n]	Insert1 Mix <u>Channel</u> [n]
INS MATRIX [n]	IMT [n]	Insert1 Matrix <u>Channel</u> [n]
INS STEREO L	ISTL	Insert1 Stereo <u>Output</u> Left
INS STEREO R	ISTR	Insert1 Stereo <u>Output</u> Right
INS MONO (C)	IMONO	Insert1 Mono (C)
DIR CH [n]	DI [n]	Direct <u>Input</u> Channel
CAS MIX [n]	CMX [n]	Cascade Mix [n]
CAS MARIK [n]	CMT [n]	Cascade Matrix [n]
CAS STEREO L	CSTL	Cascade Stereo Left
CAS STEREO R	CSTR	Cascade Stereo Right
CAS MONO (C)	CMONO	Cascade Mono (C)
CAS CUE L	CCUE L	Cascade Cue Left
CAS CUE R	CCUE R	Cascade Cue Right
CAS CUE B L	CCUE BL	Cascade Cue B Left
CAS CUE B R	CCUE BR	Cascade Cue B Right

本来の表記 (Normal 形式)	本来の表記 (Short 形式)	CSV ファイルを読み込むときに、追加で利用できる表記 ※ 下線文字の単語は省略可能です。 ※ [n] は数字 (チャンネル番号など) が入ります。
INS2 CH [n]	IC2 [n]	Insert2 <u>I</u> nput Channel [n] Ins2 <u>I</u> nput Channel [n]
INS2 MIX [n]	IM2 [n]	Insert2 <u>M</u> ix Channel [n] Ins2 <u>M</u> ix Channel [n]
INS2 MATRIX [n]	IMT2 [n]	Insert2 <u>M</u> atrix Channel [n] Ins2 <u>M</u> atrix Channel [n]
INS2 STEREO L	ISTL2	Insert2 Stereo <u>O</u> utput Left Ins2 Stereo <u>O</u> utput Left
INS2 STEREO R	ISTR2	Insert2 Stereo <u>O</u> utput Right Ins2 Stereo <u>O</u> utput Right
INS2 MONO (C)	ISTMONO2	Insert2 Mono (C)
SUR MONITOR L	SMON L	Surround Monitor Left
SUR MONITOR R	SMON R	Surround Monitor Right
SUR MONITOR C	SMON C	Surround Monitor Center
SUR MONITOR LFE	SMON LFE	Surround Monitor LFE
SUR MONITOR LS	SMON LS	Surround Monitor Ls
SUR MONITOR RS	SMON RS	Surround Monitor Rs
MONITOR MATRIX L	MMT L	Monitor Matrix Left
MONITOR MATRIX R	MMT R	Monitor Matrix Right
MONITOR MATRIX C	MMT C	Monitor Matrix Center
MONITOR MATRIX LFE	MMT LFE	Monitor Matrix LFE
MONITOR MATRIX LS	MMT LS	Monitor Matrix Ls
MONITOR MATRIX RS	MMT RS	Monitor Matrix Rs

NOTE

- ・大文字と小文字は区別されません。
- ・単語と単語の間にスペースが入っていても、また単語の順番が入れ替わっても許容されます。ただし、単語の中にスペースが入っている場合は許容されません。

Dante 出力のないデバイスに対応

Shure 社 AXT400、QLXD4、ULXD4 といった Dante 出力のないデバイスへのコントロールが可能になりました。

Selected Channel ウィンドウ (インプット系チャンネル)

HA 部の表示は以下のようになります。

■ AXT400 の表示

受信機の電源がオンの状態で、ShowLink® リモートコントロールで接続されている場合



RF レベルは 2 チャンネル分 (A, B) 表示されます。

TX.GAIN と表示されます。

受信機の電源がオンの状態だが、ShowLink® リモートコントロールで接続されていない場合



受信機の電源がオフの場合



■ QLXD4 や ULXD4 の表示



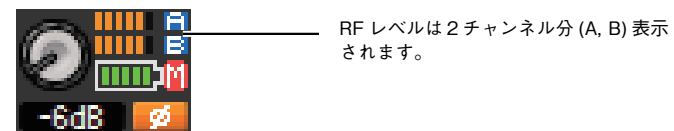
RF チャンネル (A または B) の表現が、AXT400 と同じデザインになりました。

Overview ウィンドウ (INPUT CH ウィンドウ)

HA 部の表示は以下ようになります。

■ AXT400 の表示

受信機の電源がオンの状態で、ShowLink® リモートコントロールで接続されている場合



RF レベルは 2 チャンネル分 (A, B) 表示されます。

受信機の電源がオンの状態だが、ShowLink® リモートコントロールで接続されていない場合



■ QLXD4 や ULXD4 の表示



RF チャンネル (A または B) の表現が、AXT400 と同じデザインになりました。



ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<http://www.yamahaproaudio.com/japan/>
ヤマハダウンロード
<http://download.yamaha.com/>

Manual Development Group
© 2016 Yamaha Corporation

2016年12月発行 MA-A0